

令和4年度 学習指導計画

教科	家庭	科目	課題研究	単位数	2単位
学科・類型		生活デザイン科		学年	第3学年
使用教科書					
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭科に関する分野の中から、自分が興味・関心をもち、解決すべき課題を見つける。 2. 課題を解決するために必要な資料を取捨選択し、問題解決の手がかりとする。 3. 専門的な知識と技術を深め、実生活の中で実践する。 4. さらに課題解決のために、可能な方策を考え、今回の取り組みをまとめパワーポイントにより発表する。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを決める ・テーマに従って、各種資料を探し、調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味・関心を持っている課題を探り、課題解決のための方法を知るために、調査・研究する。 ・おおよそ必要な資料が収集でき、クラスで自分の研究内容および、それまでの調査結果を発表する。自分の関心のあることだけではなく他の生徒の研究からも学ぶ。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の調査・研究内容を反省し不十分な点を補う。 ・夏休み中に自宅で行う実習等を、考える。 ・中間発表を行い、他の人の研究内容に学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の人の取り組みに学びながら、自分の取り組みを反省し、内容を深めるための方法を考える。 ・長期休暇中に、学校では出来なかった実習や、外部の調査・研究について計画を立てる。アンケートを実施する生徒は夏休み等を利用する。 ・自分の取り組みをレジュメにまとめて発表すると共に、他の人の発表に学ぶ。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントにまとめる ・調査・研究の内容を発表する。他の人の発表に学ぶ 	<p>他の人の発表を聞いた事で、自分の1年間の学習を反省し、今後の課題を見出す。</p>

令和4年度 学習指導計画

教科	家庭	科目	生活と福祉	単位数	2単位
学科・類型		生活デザイン科		学年	第3学年
使用教科書		生活と福祉（実教出版）			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児期から高齢期にいたるまでの健康づくりについて考え、ライフステージごとの健康管理について理解する。 ・高齢者福祉に関する法規や制度・サービスについて理解し、介護予防の考え方にもとづいた自立生活支援と介護に関する基礎的な知識と技術を身につける。 ・地域の高齢者の生活に関心を持ち、適切な生活支援や介護を考え、福祉の充実と向上を目指す能力を身につける。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	1 章人の一生と生活・健康 ・健康とは ・高齢社会における健康とQOL ・健康に影響を及ぼす要因 ・ライフステージと健康 2 章高齢化の現状と高齢者の特徴 ・高齢化の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・健康について、身体的・精神的・社会的な側面から理解する。 ・健康の成立要件と生活習慣の関わりを理解し、自身の健康について考察をする。 ・調べ学習を通して、自身の意見を持つ。 ・高齢者の現状をより身近に考えさせる。
2 学 期	・高齢化の現状 ・乳幼児から高齢者の福祉に関する地域の問題点を解決する。 ・高齢者の心身の特徴と病気 ・高齢者の生活課題と施策 3 章 高齢者の自立生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にみられる心身の変化に対応した基本的な介護技術を知る。 ・人口の高齢化はなぜ起こるのかを理解する。 ・加齢による心身の変化とその特徴を具体的に理解する。 ・高齢者の病気や事故の特徴について理解する。 ・高齢者人口の増大や高齢期の長期化に伴う生活課題を理解する。 ・高齢社会に対する施策を理解し、考察する。
3 学 期	・高齢者支援の法律と制度 ・介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会に必要な社会保障や法律について知り、適切な制度を選択できるようにする。

令和4年度 学習指導計画

教科	家庭	科目	伝統文化	単位数	2単位
学科・類型		生活デザイン科		学年	第3学年
使用教科書					
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	日本の代表的な伝統文化である茶道の基本的技術と知識を習得させると共に、日常の作法の向上を目指す。
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 日本の伝統文化 茶道の作法 割稽古 	<ul style="list-style-type: none"> 伝統文化を学ぶ意義について理解させる。 道具の名称、袱紗さばきなど基本的な技術を習得させる。 「客の心得」についての知識・技術を習得し、お点前の基礎知識を習得する。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 茶道の作法 割稽古 	<ul style="list-style-type: none"> 道具の名称、袱紗さばきなど基本的な技術を習得させる。 亭主の点前についての基本的な技術・知識を習得させる。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 茶道の作法 日常の礼儀 	<ul style="list-style-type: none"> 茶道についての知識・技術および茶会の初歩的な作法を習得させる。 茶道で学んだ作法を関連させ、日常生活の立ち居振る舞いにも活かさせる。

令和4年度 学習指導計画

教科	家庭	科目	調理	単位数	3単位
学科・類型		生活デザイン科(選択)		学年	第3学年
使用教科書					
使用副教材等		『フードデザイン』(実教出版)『調理 Book』(実教出版) 『オールガイド食品成分表 2020』(実教出版)			

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行事食・郷土料理・供応料理等の食事の献立調理に必要な知識と技術を習得させる。 2. 栄養素のバランスを考慮した献立作成に必要な知識を身に付けさせる。 3. 食生活の充実向上を図るとともに、創造的に調理する能力と態度を育てる。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	調理の基礎(復習) 春の献立 こどもの日の献立 滋賀の郷土料理 洋食 中華料理	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの行事にふさわしい食事の献立調理に必要な知識と技術を習得させる。 ・旬の食材を用いた調理を学ばせる。 ・食品衛生の観点から、調理への姿勢を身に付けさせる。 ・西洋のマナーを中心に身に付けさせる。
2 学 期	七夕の献立 敬老の日の献立 御祝いの献立 洋食 中華料理 自由献立	<ul style="list-style-type: none"> ・もち米の調理理論を水分の吸水力やその特性から理解させる。 ・米粉を用いて、食物アレルギーに対する課題意識、主体的に解決する力を養う。 ・皿ではなく弁当箱の限られたスペースに栄養素のバランスと見た目の美しさを伴った盛り付けの技術を向上させる
3 学 期	クリスマスの献立 正月料理	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスの供応食の調理を通して、他国の文化に触れ、食生活と文化のつながりを知る。 ・正月料理を通して、日本の郷土による違いを知る。

令和4年度 学習指導計画

教科	家庭	科目	ファッション造形	単位数	3単位
学科・類型		生活デザイン科(選択)		学年	第3学年
使用教科書		ファッション造形基礎(実教出版)			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<p>1、生活産業に関連する職業に関心を持ち、理解をする。</p> <p>2、人々のニーズ、産業と社会のつながりを捉え、産業の発展について理解をする。</p>
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・1/5サイズの原型をもちいたパターン展開 ・ブラウスの絵型製作 ・ブラウスのパターン製図 ・シーチングによるトワル製作 ・パターン修正 ・実布裁断・しるしつけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活産業基礎を学ぶ目的を理解させる。 ・産業の発展と人々のニーズのつながりについて理解をする。 ・産業の発展について考えを深める。 ・高齢者や子どもに関連する職業について、仕事内容および資格やその取得方法について理解させる。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・実布縫製 ・見返し付け ・ボタン付け ・作品提出 自由作品デザイン・パターン製図 ・シーチングによるトワル製作 ・パターン修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・見返しはデザインに応じてつける。 ・自由作品のデザインを描く際は、個人の力量を図り、生徒の実力にあった作品となるよう指導する。毎年ドレスを製作する生徒も多いが時間がかかり、細かく根気のいる作業が多く向き不向きがあり、途中での変更がほとんどできないため、ドレスをつくる意志の固い生徒を絞る。 ・ドレスのトワルは、上半身のみの確認にする。 ・個人個人の体型の特徴を捉え、パターン展開できるよう留意する。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・実布裁断・しるしつけ ・実布縫製 ・作品提出 ・作品発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品提出までの期間が少ないため、進捗状況に応じて補習指導を行う。

令和4年度 学習指導計画

教科	家庭	科目	子ども文化	単位数	2単位
学科・類型		生活デザイン科(選択)		学年	第3学年
使用教科書		子ども文化			
使用副教材等					

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの文化とは何かを社会的背景も知り、子ども文化にとって必要なことを学ぶ ・様々な媒体を通じて子どもに大切な文化を知り、制作ができるようになる。 ・子どもと遊ぶ際に気を付けることを学び、様々な媒体を使って一緒に遊ぶことができるようになる
---------	--

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども文化についての歴史、遊び発達について ・子どもの誕生日カード制作 ・子どもに大切な絵本選び ・子どもに読み聞かせができる ・子どもの絵本製作 	<p>子どもの文化とは何かを知り、歴史的背景を知り、現代の遊びに必要なことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの誕生の大切さを知り、誕生日を祝う喜びを子どもに感じさせることができるような物を製作できるようにする。 ・子どもに読んでもらいたい絵本を選び、また他の人が選んだ本を知り、子どもにとって必要な本とは何かを知り、学ぶことができる ・子どもに楽しく聞いてもらえるように読み方を工夫するように指導する。 ・子どもに何を伝えたいかを考えて絵本を製作するようにさせる。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊びの現状を知り、これから大切な遊びについて知る。 ・手作りのぬいぐるみ製作 ・子どもと文学について ・紙芝居製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の子どもの遊びの現状を知り、これから大切な遊びについてを考えて、子どもたちに伝えていきたい遊びを考えるようにする。 ・手縫いのおもちゃを作成することができ、手縫いの大変さを知り、おもちゃを大切に扱ってほしいと考えるようになる。 ・子どもは活字を読み理解するのではなく、ことばによって表現される世界の面白さを楽しさを指導する。
3 学 期	学習成果発表会の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間学んできたことを振り返り、身についた力を再認識する。 ・次年度以降の取り組みについて、後輩に伝授する。

令和4年度 学習指導計画

教科	家庭	科目	ファッションデザイン	単位数	2単位
学科・類型		生活デザイン科(選択)		学年	第3学年
教科	家庭				
学科・類型	生活デザイン科(選択)				

【学習の到達目標】

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションに関わる色彩や発想の方法、服飾史を学び、生徒それぞれが思いを形にする技術を身につけ、デザインとして表現することができる。
---------	---

【学習指導計画及び評価方法等】

	学習内容	学習のねらい・指導上の工夫点・留意点
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋服飾史 ・デザイン画の学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋の特有の服飾文化について、その特徴と変遷、歴史的背景、気候、風土などの観点から人類と衣服とのかかわりを知る。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩理論 ・ドレーピング実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・色の組み合わせについて理論的に学び、基本的な知識を習得し、それをデザインに活かせるよう応用力を培う。 ・色彩を活かした着物のデザインをテーマを設定し考案させる。デザイン画として完成させ、出展する。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめ 	

